

雲に隠れた国境

立命館慶祥中学校 二年 大寺 光

2014年、冬季オリンピックの開会式をテレビで見ていた私は、なんとも言えない苛立ちを覚えた。「なんで北方領土が映っていないの」。ソチオリンピックの開会式で、各国の選手団が入場している時、真ん中の方のスクリーンにその国の航空写真が映し出されていました。日本が入場した時、北海道の右上、北方領土を見ると雲が懸かっていました。たまたまかなと思い、次のロシアを見ているとロシアの右下にも雲が懸かっていました。日本とロシアのどちらにも北方領土の映るスペースはありました。しかし、どちらの時も雲が懸かっていた。これは絶対に偶然とは言わせない。私はこの年、六年生でした。北方領土は日本の領土だと当たり前前に思っていたのでそれまではあまり関心がありませんでした。しかし、この中継を見てから、北方領土をこのまま中途半端にしてはいけないと思い、国境をあやふやにしているということをととても許せなく思いました。

今年、中学二年生になってから、総合の時間で北方領土問題について習いました。歴史の勉強が苦手だった私は、北方領土に関する条約や宣言を改めて学び、難しい問題だなと素直に思いました。日本の主張やロシアの主張を学び、私は日本の主張が正しいと思いました。ロシアの主張するヤルタ協定は日本が参加していなく、内容が公表されるまで日本は知りませんでした。日本が知らない所で宣言されても、それは納得できません。しかし、一番の問題は、千島列島に北方領土が含まれるか、ということだと私は考えます。樺太千島交換条約での千島列島には北方領土が含まれない。しかし、日本が不参加のヤルタ協定での千島列島には北方領土が含まれる。前の条約では含まれないのだから、後の協定でも含まれないのが普通だと思います。他に少し視点を変え、調べてみると、アイヌの方々の意見がありました。それは、元々はアイヌとロシアの民族の土地だったのだから、日本とロシアではなく、アイヌとロシアの民族の

ものだという意見です。これもまた難しい問題だと私は感じました。アイヌの土地なら今は日本の領土。だが、アイヌとロシアの民族の両方が住んでいたのも、どちらのものでもある……。

これらのことを考えて、私の結論は日本の領土ということです。日本人とロシア人の共有の土地ということも考えましたが、通貨などの問題があるので却下しました。やはり正式に結ばれた樺太千島交換条約が有効だと思うので、日本の領土だと考えます。日本の領土にするために、まずは北方領土へのビザ無し渡航を可能にすることが大切だと思います。元島民の願いを少しでも叶えることができ、それにロシア人の島民との交流にもなるので、ロシア人に日本の主張を理解してもらうための糸口になると思うからです。また、日本の領土にすることが可能になったとしても、北方領土にはどちらの国の人でもビザ無しで入ることができるようにしてもらいたいです。そうすると、ロシア人の島民も日本人の島民もあまり壁が無く暮らせると思うからです。少しでも元島民の願いが叶えられるよう、未来のためにもっと学びたいと思いました。